

飯南町への想い

飯南町に住んで

飯南町都加賀 景山 玲児

私は飯南高校を卒業した後、広島市に住んで専門学校に通っていました。はじめは、そのまま広島に就職しようかという気持ちもあつたのですが、家から通える会社に就職

もきまり、飯南町へ帰ってきました。

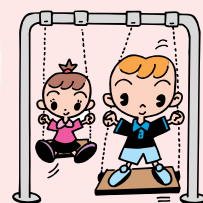
その後、平成18年に結婚し、またこの町を離れることになったのですが、子どもも生まれ、その子が大きくなつたときのことを考えて、家族三人でもう一度帰ることになりました。



景山家の皆さん

飯南町に帰ってきたことで、今まで気がつかなかった沢山のよいところに気づくことがありました。特に、子どもを育てていく上で、家族や保育所の先生から、言葉使いやあいさつなどを学ぶだけでなく、祭りや町民大会などの行事に参加することで沢山の地域の方々のふれあいのなかからいろいろなることを学び、

のびのびと育てているように感じます。また、そんな子どものふれあいのなかから、私たち夫婦にも気軽に声をかけてもらい、そこからまた地域の方々のつながりを感じる事ができました。たぐさんの自然のなかでふれあい、学び、遊ぶことで笑顔の絶えない毎日を過ごせるこの町を大切にしていきたいと思つます。



ゆの 1人娘の由野ちゃん(2才)

いざというとき 知っておかなくちゃ

AEDの使い方を
(自動体外式除細動器) 議員が受講

町内8ヶ所の公の施設に設置してある、AEDの使用方法について、11月7日(金)に議員は、雲南消防本部の講師から「心肺蘇生法」と併わせて、普通救命講習会を受講しました。



編集後記

一年を表す漢字として「変」が選ばれたように、何とも色々なことのある平成20年が終わりました。

政権は安倍政権から福田政権に引き継がれ、そして麻生政権になり低支持率に苦しんでいます。

社会も同じく、アメリカに端を発する金融危機で投機マネーが原油高を呼び、燃油だけでなく、肥料の高騰にも及びました。

そして、世界的な不況の影響で社会を牽引して来た輸出関連企業の売上予想の下方修正が相次ぎ、弱い人にし寄せが向けられています。雇用維持という朗報が聞けない現状を救う役目が地方公共団体に向けられており、議会の役割も注目されます。

今年選挙の年でもあり、皆様の意見を聞いて飯南町発展の一翼を担いたいと思つます。

議会広報編集委員会

(難波 伸一郎)

